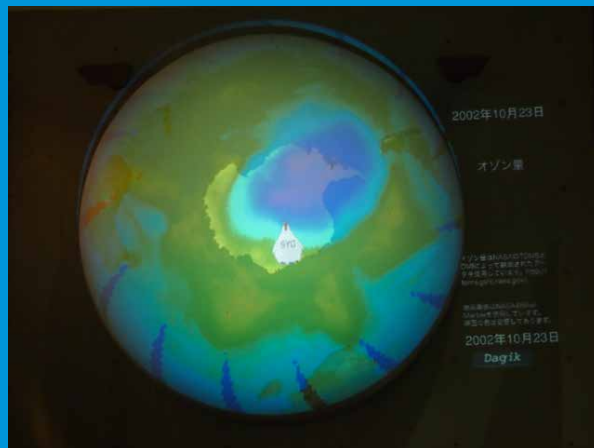


2013年11月号

今月のテーマは、
「ダジック・アース」
です。



今月は「ダジック・アース」を紹介するよ！
紹介してくれるのは、江尻省（えじり みつむ）さんです。

「ダジック・アース」は地球に関するデータを立体的に表示する装置です。丸い地球のデータは、平らな画面では正しい形で表示する事が出来ないで、このような壁から飛び出している装置でお見せしています。「ダジック・アース」を使うと、宇宙から地球を見下ろしているように、地球全体の様子が分かります。今は、オゾンの様子を表示していますので、トラック・ボールを使って地球をぐるぐる回して、南極上空のオゾンホールの様子などを見て下さい。他にも、オーロラや大気、海の様子など色々なデータを表示していく予定です。



江尻さんはどんなお仕事をされているのですか？

肉眼では見る事の出来ない大気の変動を、光や電波を使って地上から遠隔観測（リモートセンシング）することで、地球と宇宙の境目とも言われる領域（高度約100km）を中心に、地上付近から上空数100kmまでの大気中で起こる様々な現象の研究をしています。